

# 井原市 市民活動センター

# つどえ～る通信

《発行所》  
井原市市民活動センター  
715-0019 井原市井原町352-1  
0866-62-9090 (FAX兼)  
www.ibara.ne.jp/~katudou/  
E-mail:katudou@ibara.ne.jp  
編集/NPO法人市民交流  
ネットワーク井原

## 民生委員 が視察

地区 芳井



芳井地区の民生児童委員23人が7月31日、施設巡りの一環として井原市市民活動センター(つどえ～る)を訪れました。

一行は市のおぎや一号で午後一時過ぎにつどえ～るへ到着。施設の指定管理者であるNPO法人市民交流ネットワーク井原の大坪理事長が歓迎の挨拶を行い館内を案内しました。

同理事長は協働のまちづくり推進拠点であるつどえ～るについて「公益的活動であれば会議室の使用は無料。印刷機も低価格でご利用頂けます」とPR。ふれあい・いき

いきサロンの映写会や福祉分野の研修会など、施設の幅広い活用を呼び掛けました。

つどえ～るパソコン講座について民生児童委員から「市の広報でPRすれば、より多くの人が関心を持つのでは」といった提言がありました。

### 鬼祭りパレード実施

まちづくりの会

関係者は、つどえ～るが各種団体の交流や情報交換の場として、広く活用されることに期待を寄せています。

## 協働の実践に期待

### 市・指針作成し配布

全国的に「協働意識」を高めようとする動きが顕著です。

井原市においても毎年、各地区で協働のまちづくり市民推進室を開き、それぞれが抱える課題等について市民と行政が話し合い、地元の発展や問題解決に力を注いで

います。

井原市協働推進課では井原市が進める協働の目標となる市民協働の基本指針「協働のまちづくり・いばら」を作成して七月、全世帯へ配布しました。

新しい「公共」は、市民・自治会・企業・行政・諸団体・NPO法人やボランティアなどが対等な関係で役割を担い、特性を活かしながら成果を生み出す取り組みが求め

奇祭で知られる井原の鬼まつり。井原町まちづくりの会はそのPRや地域文化の伝承を図ろうと七月二十七日、井原公民館で実行委員会を開き、交通安全パレード(十月二十五日午後)の実施を取り決めました。

祭祀とは切り離れた形のイベントながら、多くの鬼が約2kmの商店街を下る様子は圧巻。地域活性化イベントの補助金を得て行われます。

## 活発に意見交換

### 関係者15人が出席

市民活動連絡会

岡山県ゆうあいセンター主導による「市町村市民活動支援センター連絡会」が六月二十二日、つどえ～るで開かれ、自治体の関係者を含む十五人が出席しました。

一行は井原へ到着後、とまとさん家を視察。ボランティアスタッフの積極性を高く評価すると共に

午後からつどえ～るで会議を開き、ゆうあいセンターの小川所長を議長に各センターの業務形態や活動内容、施設の利用状況、問題点などについて意見を交換しました。



岡山県内の市民活動(支援)センターは現在、倉

## 無料でHPを作成

### 3自治会を募集

申込はつどえ～るへ

を呼び掛けており、その一環として企画したものです。

当面は三つの自治会を募集。自治連合会・少年団・婦人会・消防団・趣味サークルなどの活動紹介を主な内容とします。掲載する写真や情報は提供頂くこととなりますが、作成及び更新はNPO法人がすべて無料で行います。開設期間については試験的な意味もあり1年を予定。閉鎖はいつでも可能です。詳しくはつどえ～る事務局へ。62-9090

# 打ち水大作戦2009

## 「2℃下がったよ」

### 六十人がバケツ持参



一斉に打ち水をする参加者ら。七月二十三日正午・つどえの前

### つどえ～る登録団体

- 〔・印はNPO法人〕
- 備中西商工会青年部美星支部 (代表 川上 直哉)
- ・まちづくり岡山ネットワーク (代表 吉澤万千子)
- ・井原市福祉をよくする会 (代表 落合 清三)
- 櫛の杜塾 (代表 佐藤 清)
- 鳥羽踊り保存会 (代表 尾山 立志)
- ・プラント (代表 吉原 正敏)
- 井原町まちづくりの会 (代表 三宅 秀治)
- 新現役の会井原支部 (代表 森 岑生)
- ・はっぴいひろばとまとさん家 (代表 川相 肇)
- ・井原はばたき会 (代表 中島 知子)
- 100万人のキャンドルナイトin井原駅実行委員会 (事務局 上田 勝義)
- 井原BBQ (代表 細羽 宏子)
- 五味会 (代表 宮本 幸枝)
- ボランティアガイド井原 (代表 妙見迫有紀)
- 井原備中神楽保存会 (代表 森下規矩二)
- ・市民交流ネットワーク井原 (代表 大坪 正廣)

鳥羽踊りで知られる井原市東地区と交流のある島根県隠岐郡海士町から訪れていた児童二十二人が八月一日、駅前通りで繰り広げられた夏祭り

### 井原夏祭り 仲良く「ホイサ！」 隠岐・海士町交流児童

に参加、井原音頭や備中ほいさなどを一緒に踊り、井原のサマイイベントを楽しみました。



鳥羽踊り保存会の人たちと一緒に踊る海士町の児童

省エネや地球温暖化防止などを呼び掛けている100万人のキャンドルナイトin井原駅実行委員会(上田勝義事務局長)主催の「打ち水大作戦2009」が大暑の七月二十三日、つどえで行われ、共催の国際ソロプチミスト井原や、はっぴいひろば・とまとさん家、NPO法人市民交流ネットワーク井原のメンバー約九十人が参加しました。

のぞいてみよう  
熱くとるける鉄の世界！  
天神山たたら実演

井原駅から送迎バスがでます

日時：平成21年8月30日(日) 午後1時～5時

場所：岡山県井原市芳井町天神山公民館

参加募集：30人(無料)

申込：広島大学大学院生物圏科学研究科 濱尾香代 082-424-7903

問合せ先：NPO法人プラント 0866-62-5556

主催：広島大学  
共催：NPO法人プラント・天神山自治会  
後援：生涯学習支援団体「まなびめいと」

原は午前十時から子供たちの交流会を開き、後楽園の新茶を使った抹茶を参加者へサービス。打ち水は隣地の手押しポンプをお借りして地下水を汲み上げ正午、約六十人がつどえ～る前の道路へ一斉に散水。わずか五分ほどで歩道に設置した温度計が2も下がる「ずいぶん違うなあ」と、打ち水効果の大きさに驚いていました。

100万人のキャンドルナイト2009夏至in井原駅  
いろいろな願いを書き込んだキャンドル約2000本が6月20日、井原駅前広場に並びました。

7月のつどえ～る利用過去最多  
打ち水大作戦などのイベントや施設巡り、出前講座などがあった関係で、7月のつどえ～る利用者は680人。1ヶ月ごとの記録としては過去最多となりました。

緑のカーテンで省エネ  
今年は全国的に緑のカーテンが大流行。つどえ～るでは5月下旬から3カ所の窓の下へ、ゴーヤー・ヘチマ・ミニトマト・アサガオのプラン

## 三二情報



ターを設置。今では窓の高さまでツルも伸びて、しっかりカーテンの役目を果たしています。(写真上)  
<http://ameblo.jp/koutaroutahara>

コーヒー自動販売機設置へ  
つどえ～るの館内へ近々、コーヒーの自動販売機が置かれることになりました。皆様のご利用をお待ちしております。

### つどえ～るご利用メモ

- 【1階】使用無料  
交流コーナー・ミーティングコーナー・情報コーナー・インターネットコーナー・作業コーナー・パソコンコーナー・展示コーナー・育児ルーム  
注) コピー印刷等は実費要  
注) 本施設は公益的の事業以外の目的には使用できません。詳しくは事務局へ  
注) 倉庫の使用はご遠慮願います  
注) ゴミは各自お持ち帰り願います
- 【2階】有料会議室(机15・椅子30)  
9:00～17:00 1時間 200円  
17:00～21:00 1時間 300円  
冷暖房は1時間 100円
- 【休館日】月曜日、祝日、年末年始  
注) ただし月曜日が祝日の場合は、翌日の火曜日が休館